

犬田卯 小説家。明治三十四年八月二十一日茨城縣生れ、昭和二十二年七月二十一日歿（一九九一—一九五七）。筆名穀水暮、犬田水暮、茨木隆。大正八年博文館編輯部入社、八年は井すゑと結婚、十二年中村屋湖等と農民文藝研究會（のち農民文藝會）を興じ、昭和二年その機關誌『農民』を發刊。

譯著書、ゴーリキー著『新シキ露西亞』（譯、茂森生編、大正十二年四月十日世界思潮研究會「世界パンフレット通信」）、『續プロ最近傑作選集』（合著、山崎今朝瀾編、大正十五年十一月二十日解放社「解放群書」）、『ゴッラ叢書』（譯、第二編『大地』昭和六年一月十日改造社）、『精銳十人傑作集』（合著、昭和八年四月二十日現代評論社）、フレンク・ノリス作『オクトパス・上卷』（譯、昭和八年九月二十日読書院）、『ブルザツク作コレ・パイザン』（譯、昭和九年九月二十日建設社）、『農村』（昭和九年十一月二十一日平凡社）、フレンク・ノリス作『小麥・上』（譯、昭和十七年二月十五日笠書房）、『愛といひのちこーはだしの夫婦愛二十六年』（注井すゑ共著、昭和二十二年十月二十日大日本雄弁會講談社。再刊『愛といひのちこー』五十九年七月二十日新潮社「新潮文庫」）、『日本農民文學史』（小田切秀雄編、昭和二十二年十月五日農山漁村文化協會）等。

